



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員

斉藤くに子
区政ニュース

メール: arajcp@cn-catv.ne.jp 区議会: http://www.jcp-arakawakugidan.jp/
くに子ブログ: http://s-kuniko.jugem.jp/



2025年5月11日 No.1381

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



西日暮里駅前再開発の本組合が発足(都認可) 3年間で事業費1.4倍増・税金投入1.8倍増



東京都は西日暮里駅前地区市街地再開発組合の設立を1月31日に認可。

4月25日には組合主催で設立披露祝賀会が開催されているが、日本共産党区議団は参加していない。

資材、人件費などの高騰で3年前に比べ総事業費1.4倍、補助金＝税金投入1.8倍まで膨れ上がり、今後も高騰は続くと考えられ事業費も税金投入も増えるかも。

再開発施工地域の半分近くが

荒川区の土地＝区民の財産と投入。区が最大の地権者だが、事業は「東急不動産」に事実上丸投げ。

今後、再開発組合が権利変換など行い、6年後2031年3月に竣工の予定となっているが、広い区有地と多額の税金を投入して、

住居部分は46階高層マンション。

計画どおり進むでしょうか？大丈夫でしょうか？

西日暮里駅前地区再開発の事業費と財源内訳

	2021年	2023年6月概算	2024年2月概算	2030年(竣工予定)	備考
総事業費	955億円	1,172億円	1,342億円	?	
内訳					
保留床の処分	715億円	780億円	904億円	?	住宅、商業、業務床など処分金
補助金	186億円	242億円	261億円	?	補助金 国50%区50%
公共施設管理費負担金	54億円	113億円	177億円	?	国50%区50%
補助金など計	240億円	392億円	438億円	?	

西日暮里駅前再開発施行区域

総面積	12,340㎡	
内訳		
道端山中跡地	4,270㎡	約44%
ひぐらし保育園	940㎡	
通所サービスセンター	250㎡	
合計	5,460㎡	

※区道、都道含めると6割が公有地

地下3階・地上46階、高さ約170mの複合施設。地区面積は約2.3ha、延べ面積は約164,150㎡。分譲住宅979戸、業務、保育、10階部分は商業・文化交流施設・コンベンション施設、屋上庭園。

★無料法律・生活相談会★

弁護士定例相談は第四月曜日

5月26日(月)18時～

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

建設費高騰で延期、中止が相次ぐ

☆中野サンプラザ再開発・事業費2倍で白紙

中野区が進める「中野サンプラザ」再開発計画は、一等地にある中野サンプラザと旧中野区役所を解体し、オフィスやマンション、商業施設、多目的ホールなど複合施設整備の大型プロジェクト。

野村不動産を代表とするグループの施行予定者が東京都

への施行認可申請を24年10月に取り下げ、3月11日に計画は白紙に。

☆江戸川区役所の建替300億⇒610億円で開庁が2年延期

☆品川区新庁舎建設も工期8ヶ月の遅れ

☆小金井市役所建替は施工業者の入札に応札ゼロ

☆2023年10月に閉場した国立劇場も再整備事業2回目の入札も不落札。

いまだに新劇場の再開場時期も不透明なまま。

☆新宿駅前再開発でも建設業者未定で更地のまま

☆西尾久の荒川遊園スポーツハウス大規模改修 本体工事で入札辞退



事前説明にはJV(共同企業体)がきたが4月9日の入札は辞退。

建設費高騰を踏まえ

	当初予定	増額予算	修正予算後
2025年度	1,518,200千円	70,100千円	1,588,300千円
2026年度	2,277,690千円	105,297千円	2,382,987千円
合計	3,795,890千円	175,397千円	3,971,287千円

て4月30日の区議会に増額補正が提案され可決。

当初の37億9500万円に1億7500万円増額で、今年度・翌年度2年間合計39億7千万の予算を組んだ。再入札では手続きに時間もかかり、工期が伸び契約額も引きかける可能性が高いため一般競争入札ではなく、見積競争(随意契約)で行うことに。

家族向・単身者向都営住宅入居者募集が始まっています
申込書配布 5月15日まで。郵送・オンライン申込で21日必着
今回は荒川区の申込1～5人以上で24地区・事故物件3地区あり
わからないことがありましたらご連絡ください！！



東京都23区の新築マンションの発売平均価格は1億1181万円(2024年)と10年間で1.7倍、中古マンションの平均価格も1.7倍。東京での新築マンション(70㎡の場合)は年収約18倍、築10年マンションでも年収約15倍(東京カンテイ試算)「年収の10倍」と言われた80年代末のバブル期をはるかに超えている。

賃貸の家賃も10年間で1.4倍。要因は都内各地で進む再開発の超高層タワーマンションが価格を吊り上げ、周辺の地価やマンション価格の高騰につながっている。

介護保険制度が スタートして25年

かつては、子どもや家族が行うものとされていた親の介護ですが、高齢化が進むにつれ、介護を必要とする高齢者の増加や核家族化の進行、介護による離職が社会問題となりました。

こうした中、家族の負担を軽減し、介護を社会全体で支えることを目的に創設されたものが介護保険制度です。
(厚労省パンフレットより)

介護の社会化ほど遠く ～保険あって介護なし～

2000年にスタートした介護保険制度、4月で25年となりました。「介護の社会化」は結局看板倒れに終わっています。

給付は削られ、負担は増え、事業者の報酬は低く据え置かれ、介護保険料は引上げられてきました。

高い介護保険料を支払い続けているのに、必要な時に必要な介護サービスを利用できない状況です。

また、人手不足と低い介護報酬による経営難により、事業所の存続そのものが厳しくなっています。



2024年の介護事業所の倒産・廃業は過去最多で、とりわけ昨年の介護報酬改定で唯一基本報酬が引き下げられた訪問介護は荒川区でも減少しています。

介護現場のサービスは全面的に民間に任されています。在宅介護の基本サービスである訪問介護事業の危機は「介護崩壊の始まり」と言えます。

政府はさらに、3年前に世論と運動で先送りにさせた、利用料2割負担の拡大・ケアプランの有料化・要介護1・2生活援助サービスの総合事業への移行をまた狙っています。これではますます「保険あって介護なし」です。

一人暮らしでも在宅生活が続けられるように、必要な方がお金の心配なしに施設介護が受けられるように、公費による介護職員の給与大幅引上げで人材確保を、介護保険財政の国庫負担割合の引上げをなど声をあげていきましょう。



時期区分	利用者負担	給付	介護報酬	介護保険料(基準年額)	
				荒川区	全国平均
第1期	2000～02年度			35,555円	34,932円
第2期	2003～05年度	施設等での居住費食費徴収	基礎整備の総量規制給付の適正化スタート	▲2.3%	38,932円
第3期	2006～08年度		新予防給付創設	▲2.4%	53,140円
第4期	2009～11年度		処遇改善交付金創設 認定制度全面見直し	+3.0%	55,356円
第5期	2012～14年度		処遇改善交付金を介護報酬に編入	+1.2%実質 ▲0.8%	69,504円
第6期	2015～17年度	利用料2割負担導入補足給付に 資産要件等を導入	総合事業スタート 特待対象原則要介護3以上に 財政インセンティブ導入	▲2.27% 基本報酬	67,948円
第7期	2018～20年度	利用料3割負担導入 高額介護費の上限額引き上げ	生活援助届出制導入	+0.54%	71,760円
第8期	2021～23年度	補足給付の要件厳格化		+0.7%	77,760円
第9期	2024～26年度	多床室料負担の拡大		+1.59%	83,040円

どうゆうことでしょうか？シルバー人材センターの仕事がまた減る？！
物価高騰と低年金で高齢者の仕事確保が求められている時に、放置自転車に
続いて、荒川区報配布(荒川町屋南千住)が民間事業者へ移る？



定期接種化で 带状疱疹ワクチン助成が縮小!?

助成の対象 区の带状疱疹ワクチン助成は、「50歳以上」を対象に2023年度から開始しましたが、4月からの「定期接種」化にもなって助成内容が段階的に縮小されます。

定期接種の対象となる「65歳を迎える方」は、これまで通り費用の半分程度が助成されます。また、2029年度までの5年間は「70・75・80・85・90・95・100歳になる方」も助成の対象です。「101歳以上の方」「50歳以上で上記に当てはまらない方」は、今年度まで対象となります。

	2025年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
50歳以上	→					
65歳 (定期接種)	→	→	→	→	→	→
70・75・80・85・ 90・95・100歳				→	→	→
101歳以上	→					

ワクチンの種類	生ワクチン	不活性化ワクチン
回数	1回	2回
予防効果	50～60%	90～95%
持続期間	5～8年程度	9年以上
特徴	1回で済む 料金が安い	予防効果が高い 免疫低下でも接種可
自己負担	4,000円	11,000円(×2回)

※生活保護世帯等は免除

対象の方は、6月中旬以降に予診票が届きます。ワクチンは「生ワクチン」「不活性化ワクチン」の2種類があり、自己負担額はそれぞれ4,000円・11,000円（通常費用の半分程度）です。

助成利用は対象の3% 2023年度は2,716人の方が区の助成を利用しましたが、対象人口(50歳以上)の約3%にとどまっています。助成があっても、費用負担を考えると躊躇される方が少なくないようです。

費用無料化、支援継続する区も 足立・葛飾・渋谷・港など、定期接種対象者の費用を無料にする区もあります。また、荒川区は定期接種対象外の方への助成を今年度限りで終了する予定ですが、引き続き継続する区もあります。物価高騰の中で4,000円は決して軽い負担ではありません。費用の心配なく接種できるよう、助成額の引き上げや任意接種の助成継続など、区民の健康をまもる区の支援を求めます

※带状疱疹とは…

発症すると、赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じて痛みを伴い、症状が収まっても痛みが続くことも。多くが水ぼうそうのウイルスが原因で、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています

滑り止めシートでキャップ開けを作りました



ペットボトルのキャップが開けられない。お願い開けて…
そんなことも増えてきました。

滑り止めシートをカットして、まわりを毛糸で細編み一周。冷蔵庫などにぶら下げて置くなら最後に引っ掛けループを作って完成。6枚も作りましたよ
ついでにオープン食器棚にも滑らないように敷物を作ってみました。



簡単に短時間で出来上がります。作ってませんか。お友達やお母さんお父さんへのプレゼントに如何でしょう。

